

専門〈保健師〉

- (1) 妊産婦のメンタルヘルスへの対応に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。
1. DV や経済的困窮などの心理社会的ハイリスクがありながらも支援を希望しない妊産婦に対しては、本人が支援を求めてくるのを待って対応する。
 2. 産後うつ病の好発時期は産後3～4か月なので、その時期の乳児健診時にスクリーニングツールを活用して早期発見に努める。
 3. エジンバラ産後うつ病質問票で9点未満の母親については、生活状況や心理状態の把握に努めるとともに、産後うつの可能性が高いので、精神科医の受診を勧める。
 4. 初回相談で自殺をほのめかす発言をする妊産婦には、具体的な助言はせず、「気持ちはよく分かりますが、頑張ることがあなたのためになります。」と励ます。
 5. 望まない妊娠で出産をした母親については、本人の同意を得て、子育て世代包括支援センターや市町村の母子保健課などに情報提供を行い、産後ケアの支援ができるようにする。

専門〈保健師〉

(2) 因果関係に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

ア. インフルエンザウイルスの曝露は、インフルエンザ発症の必要条件である。

イ. 飲酒は、アルコール依存症発症の十分条件である。

ウ. 結核菌の曝露は、肺結核発症の必要十分条件である。

エ. 喫煙は、肺がん発症の必要条件でも十分条件でもない。

1. ア, イ

2. ア, ウ

3. ア, エ

4. イ, ウ

5. イ, エ